

Golden Age Project COMP-3A



取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

Golden Age Project / COMP-3A

COMP-3A は伝説のビンテージ『LA-3A』を再現したコンプレッサー/レベリング・アンプです。ディスクリット・コンポーネントや、独立トランスフォーマー・バランスの入出力など、アナログ・コンポーネントのみで構成された本物のサウンドを実現しています。

1969 年のデビュー以来、数え切れないほどのレコーディングで使用され、最も有名なコンプレッサーとして歴史に名を刻む LA-2A(真空管バージョン)と、LA-3A(ソリッド・ステート・バージョン)、その両モデルの個性的なサウンドとコンプレッション・キャラクターの核となっているのが『T4 エレクトロ・オプティカル・アッテネーター』です。Golden Age Project の COMP-3A はこの T4 ELOP を精巧に再現、極めて滑らかにナチュラルに入力信号に追従するコンプレッション動作を達成しています。

LA-2A より高速なアタックとリリースを実現できる LA-3A のサウンドは、ドラムスやルームマイク、ピアノ、ボーカルなどに多く使用されますが、特にエレクトリック・ギターやベースの録音において最もポピュラーです。ミッドレンジをしっかりと捕えるそのパンチ感のあるコンプレッション・サウンドは、世界中のプロフェッショナルから支持されてきました。

オリジナル・ビンテージ機器は高価だけでなく、正しいサウンドを得るためのメンテナンスにかかる費用も大きくなります。Golden Age Project の COMP-3A は、LA-3A の『デリシャス』なコンプレッション・サウンドを、お求めやすい価格で体感できる唯一のツールです。



サーキット・デザインについて

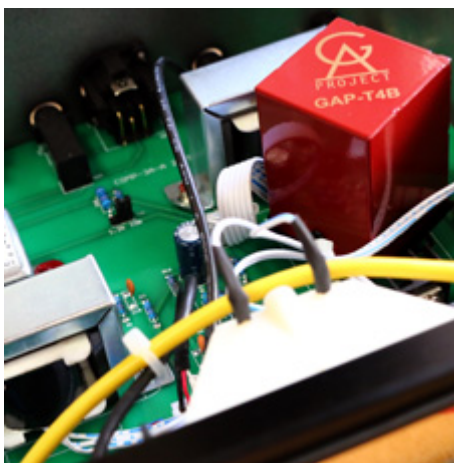
入力ゲイン・スイッチを 30dB ポジションに設定した場合、入力信号は-20dB の PAD 回路を通りま
す。入力ゲイン・スイッチを 50dB ポジションに設定することで、-20dB の PAD 回路が切り離される
ため、『T4 エレクトロ・オプティカル・アッテネーター』への入力レベルを大きくすることができ、より
アグレッシブなコンプレッション・サウンドを楽しむことができます。

信号は T4 ELOP から GAIN ノブ→PEAK REDUCTION→ディテクター・セクションへと送られていき
ます。

また、出力ゲイン・スイッチを MOD ポジションに設定する事で、出力段で-20dB の減衰を適応でき
ます。

サイドチェイン・セクションは複数のトランジスタで構成され、オート・トランスフォーマーは T4 ELOP
内の EL パネルの発光に使用されています。高いボルテージとなるほど光量が増しフォトセルが反
応します。

また HF コントロールによって、中高域へのサイド・チェイン信号のレベルを増加させ、1kHz 以上の
周波数に対する感度を高めることができます。従来は放送局で高域の過変調のトリートメントに使用
されていた機能ですが、現代のレコーディングでは高域の周波数のみをより強くリミッティング
することで、マイルドなアナログ感をプラスするなど、より積極的な音作りの為に利用する事ができ
ます。



USING COMP-3A



■ 24VAC

電源には必ず付属の 24V AC アダプターのみご利用ください。

■ LINK

2 台の COMP-3A をステレオ・リンクさせる際に TRS ケーブル (TS ケーブルも可) で両機を接続させます。

■ INPUT / OUTPUT

入力／出力端子は XLR または TRS フォンジャックがご利用いただけます。各 XLR/TRS 端子はパ
ラレルで接続されています。

■ サイズ

サイズはハーフラックサイズ、高さは 2U 相当。



■ ON / OFF

フロントパネルにユニットの ON/OFF スイッチがあります。

.

■ GAIN(スイッチ)

GAIN(スイッチ)で入力ゲインを 50/30 スイッチで選択できます。50 ポジションではよりアグレッシブなコンプレッションに、30 ポジションではよりナチュラルなコンプレッションとなります。

また MOD/NORMAL スイッチでは、MOD ポジションで出力信号を-24dB 減衰させることができます。

■ GAIN(ノブ)

GAIN コントロール・ノブは出力レベルを設定します。メイクアップゲインを調整します。

■ PEAK REDUCTION(ノブ)

PEAK REDUCTION ノブはコンプレッションを調整します。時計回り方向に回すと効果が強まります。

■ METER

・メーターでは切り替えによりゲインリダクションと出力レベルを確認できます。METER スイッチを GR ポジションに設定する事でゲインリダクション量が確認できます。0 ポジションでコンプレッションされていない状態です。また ZERO と表記されているトリムポットを調整する事で GR メーターの 0 調整を行うことができます。

METERスイッチを+4、または+10ポジションに設定することで出力レベルを確認する事が可能です。メーターが0VU位置でのリファレンスレベルを+4または+10ポジションで設定できます。+10ポジションではメーターが高い出力レベルの際に振り切るのを避けるのに役立ちます。

■ BYPASS スイッチ

BYPASS スイッチでコンプレッションのかかったサウンド(IN ポジション)と、バイパスのサウンド(BYPASS)を簡単に比較する事ができます。

■ HF コントロール(左下のノブ)

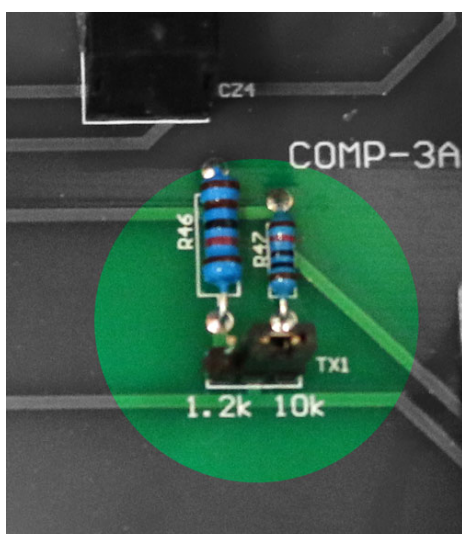
HF コントロールでは高域信号のコンプレッション感度を調整できます。このノブを時計回り方向に回すと、より中高域へのコンプレッションが大きくなります。FLAT 側に設定するとこのノブは無効になります。従来は放送局で高域の過変調のトリートメントに使用されていた機能ですが、現代のレコーディングでは高域の周波数のみをより強くリミッティングすることで、マイルドなアナログ感をプラスするなど、より積極的な音作りの為に利用する事ができます。

■ LIMIT / COMPRESS スイッチ

LIMIT/COMPRESS スイッチでは、コンプレッション・カーブをリミッター・タイプまたはコンプレッサー・タイプで切り替えます。COMPRESS ポジションがスタンダードなポジションです。

■ 内部ジャンパ

内部ジャンパにより出力トランスのロードを変更可能です。ジャンパ設定を変更する事でサウンド・キャラクターを選択できます。1.2kHz ポジションに変更する事でより倍音を得られる設定となります。



COMP-3A のステレオ・オペレーションについて

COMP-3A を 2 台使用したステレオ・オペレーションでは、2 つのユニットをリアパネルの LINK 端子で接続することで、両機のサイドチェインをリンクさせることができます。接続にはアンバランスの TS (TRS も可) フォンケーブルを使用します。

MONO と表記されているトリムポットは、COMP-3A を 2 台使用したステレオ・オペレーションの際のキャリブレーションに使用します。

【COMP-3A ステレオ・オペレーションのキャリブレーション方法】

- 1、2 台の COMP-3A の LINK 端子を TS または TRS フォンケーブルで接続します
 - 2、両方のユニットの LINK スイッチを ON ポジションに設定します
 - 3、MONO トリムポットを時計回りに回し切りに設定します
 - 4、各ツマミ/スイッチの設定を確認します。
 - ・PEAK REDUCTION ノブを 0 位置に設定します
 - ・LIMIT/COMPRESS は COMPRESS に設定します
 - ・GAIN SW 50dB/30dB は 50dB に設定します
 - ・GAIN SW MOD/NORMAL は MOD に設定します
 - 5、METER スイッチを +4 ポジションに設定します
 - 6、シグナル・ジェネレーターを接続し 1kHz、出力レベル 1.23V(+4dBu) に設定します
 - 7、両ユニットの GAIN コントロールノブで出力が 0dB となるよう調整します
 - 8、両ユニットの METER スイッチを GR ポジションに設定し、どちらかのユニットの PEAK REDUCTION ノブでメーターが約 -5dB となるよう調整します。この時、両方のユニットが反応しています。
 - 9、どちらの COMP-3A がよりゲインリダクションしているかを確認し、そのユニットの MONO コントロールを調整して、もう一台の GR メーターが同じ振れになるように調整します。PEAK REDUCTION ノブとの調整を反復し、最終的には両ユニットが -5dB を示すように調整します。
- この項の調整は、すべてゲインリダクションの大きいユニットで行います。

*ステレオ・オペレーション時にはマッチド・コンプレッションとアウトプットを得るために、両ユニットのノブ位置は同じ設定にしてください。